

「先進の知と技で、ものづくり社会の未来を拓く、工学部」 工学部の今後 10 年の将来構想

工学部は、「先進の知と技で、ものづくり社会の未来を拓く、工学部」の学部教育目標をかかげ、10年先の2020年を目指して躍進する。

工学部は、大学発足以来の材料科学科と機械システム工学科に加え、平成20年度に電子システム工学科が新設され3学科体制となった。しかし電子システム工学科は、材料科学科と機械システム工学科と比べて全教員数が少ない上に、学科専門科目に加え全学共通情報科目および工学部共通科目の負担が大きいいため、学科専門教育のみならず全学教育も十分な質を保てない可能性が高い。そこで工学部では、この教育負担の不均衡を解消すると共に、工学部全体および全学共通情報科目の教育の質を高めること、および大学院教育と研究の充実を図ることを、平成24年度からの中期目標の主眼とする。

【平成23年度まで】

◎ 教育

学部教育の改善を継続的に行い、材料科学科および機械システム工学科は平成23年度にJABEE認定審査を受ける。博士前期課程の既存2専攻では、カリキュラムおよび教育実施方法の見直しを進める。また平成24年4月に電子システム工学専攻を設置するための準備をする。博士後期課程では、平成21年度に設置した先端工学専攻において、社会人入学を促進させるなどの教育方法の改善に取り組む。

◎ 研究

教員の自由な発想に基づく研究を機軸としながら、学部内および他学部教員との研究連携や工学部支援会の会員企業等との連携についても、支援の方策を検討する。工学部ガラス工学研究センターの本務教員2名を、それぞれ材料科学科兼務および電子システム工学科兼務とし、両学科における研究および教育を支援する。科研費などの競争的資金獲得を促進する。

◎ 社会貢献

社会貢献・地域貢献のアクティビティを保つと共に、より効果的な活動方法を検討する。

◎ 学部組織および学部運営

平成24年度からの中期目標・中期計画の策定に向け、工学部全体で継続的な検討を開始する。

【平成24年度以降】

◎ 次期中期計画における工学部の理念と行動指針

人間と環境への配慮を基盤に、“科学・技術”の進歩に貢献する高度専門職業人を育成するとともに、“基礎科学から製造技術まで”の全領域で研究を行う。全学共通科目(情報関係科目)および工学部共通科目の担当・体制を、全学共通教育機構と連携して見直し、材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科のバランスのとれた3学科体制の構築を目指す。

◎ 教育

電子システム工学科の第1期生卒業が平成24年3月であることから、平成24年度に同学科のJABEE認定審査を受ける。平成24年度に大学院博士前期課程に電子システム工学専攻を設置する。その際に大学院担当教員として工学研究科教員を純増し、大学院教育の充実を図る。

良質の受験生の確保のため、大学・学部・学科イメージアップおよびPR効果を高めていく。学部教育では、プロフェッショナルとしての自覚、十分な基礎学力、実践的

な問題把握力と問題解決能力，専門分野についてのコミュニケーション能力，定量的思考力，戦略的思考力などを早くから身につけられるよう，カリキュラムと教育実施方法の改善を図る。そのために，学生の授業負担を考慮して，健康・体力科学関係科目および第二外国語関係科目の一部を選択科目とすることを検討する。学部初年次から大学院修了までのトータルで見た教育効果を高めるために，学部共通教育について再検討し，カリキュラムと実施体制の両面で改善を図る。大学院教育では，環境マネジメント，技術マネジメント（例えば，技術経営（MOT））に関する副専攻の設置可能性について検討する。

◎ 研究

教員の自由な発想に基づく研究を機軸としながら，学部内および他学部教員との研究連携や工学部支援会の会員企業等との連携については，学部として支援する。工学部付属施設や全学付属施設との研究教育面での連携を強化する。工学部支援会会員企業など学外の組織・団体との研究連携を強化する。平成27年で開学から20年経つため，教育研究機器の老朽化対策に計画的に取り組む。科研費などの競争的資金獲得を促進する。

◎ 社会貢献

社会貢献・地域貢献のアクティビティを保つとともに，その有効性と効率を高める。

◎ 学部組織，学部運営等

電子システム工学科の設立時の当初計画に則り，当該学科内に寄附講座の設置を努力する。

全学における情報教育の実施体制について，教育に専念する複数年任期制教員の採用も含め，工学部と全学共通教育推進機構で協議検討し，改善を図る。工学部独自の同窓会設置も視野に含め，卒業生との連携や卒業生支援を強化し，名実共に存在感のある大学とする。

工学部棟における階段の新設や外廊下や内廊下などの老朽化対策とともに，安全とバリアフリーを考えた学舎の改善を行う。